



Business Report

第153期報告書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

名古屋鉄道株式会社

ごあいさつ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第153期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費が雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移したほか、輸出・生産面も海外経済の回復に伴って持ち直すなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、先行きについては、米国新政権の政策動向や英国のEU離脱決定など、不透明な要素も少なくありません。

このような状況のもと、当社グループでは、積極的な営業活動と効率的な経営に努めた結果、営業収益は前期に比べ1.7%減の5,995億6千9百万円となりました。営業利益は1.5%減の441億8千万円、経常利益は4.0%増の461億4千2百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4.5%減の234億3千3百万円となりました。また、当社個別の営業収益は前期に比べ0.1%減の1,057億4千1百万円となりました。営業利益は8.7%増の191億1千3百万円、経常利益は26.4%増の229億5千2百万円となり、当期純利益は67.9%増の136億7千7百万円となりました。

以上の業績及び経営基盤強化に必要な内部留保を勘案し、期末配当につきましては、1株につき5円（中間配当を見送りましたので年5円配当）とさせていただきます。

当社グループは、リニア中央新幹線開業のインパクトをグループ飛躍の最大のチャンスと捉え、名鉄名古屋駅地区の再開発に取り組んでおり、本年3月には、「名鉄名古屋駅地区再開発 全体計画」を公表いたしました。名駅再開発の本格的な始動に向けて、強固な経営基盤の確立などを進めるため、平成29年度を最終年度とする「名鉄グループ中期経営計画～PLAN123～」に着実に取り組んでまいります。

これからも永く社会に貢献し、地域から愛される企業集団として存続するべく、グループ一丸となって更なる業績の向上に全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



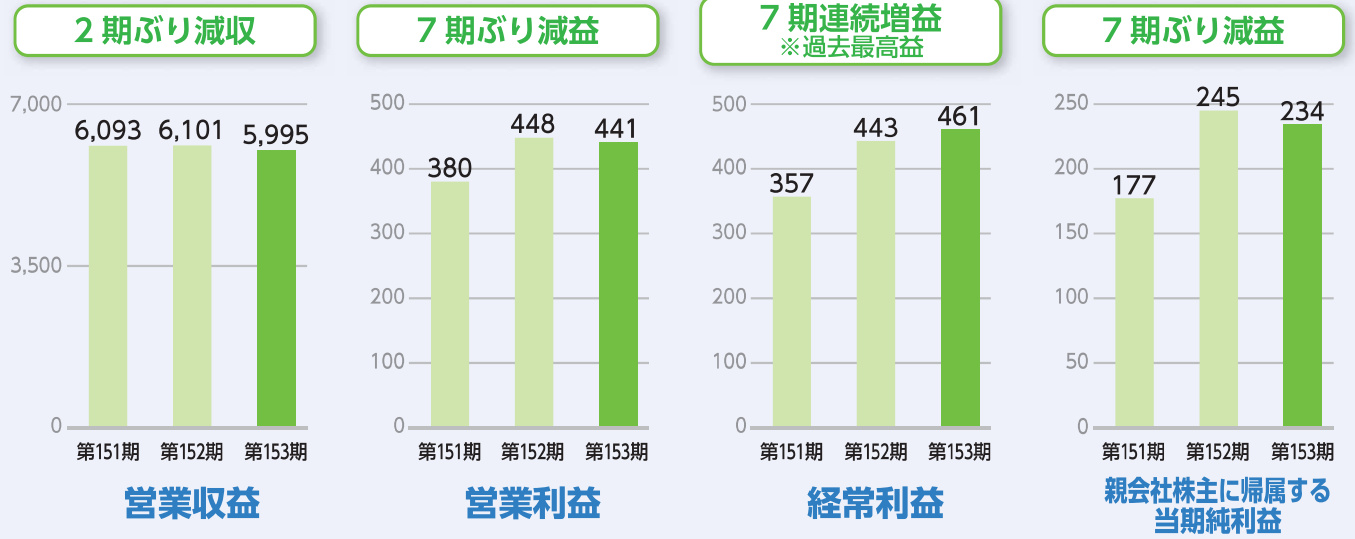
代表取締役社長
安藤 隆司

平成29年6月

平成29年3月期 連結決算の概要

連結業績の推移

(注)記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。(単位:億円)



平成30年3月期の見通し

平成30年3月期 連結業績予想

平成30年3月期の連結業績予想については、流通事業を除く各事業で増収となり、営業収益は6,100億円（前期比1.7%増）を見込んでおります。

利益面では、燃料費や人件費が増加することにより、営業利益は422億円（前期比4.5%減）、経常利益は426億円（前期比7.7%減）と減益を見込んでおりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の改善により261億円（前期比11.4%増）と増益を見込んでおります。また、平成30年3月期末の連結純有利子負債残高については、4,380億円（前期比26億8千7百万円減）を見込んでおります。

営業収益	6,100	億円	前期比 1.7%増
営業利益	422	億円	前期比 4.5%減
経常利益	426	億円	前期比 7.7%減
親会社株主に帰属する当期純利益	261	億円	前期比 11.4%増

配当見通し

平成29年10月1日をもって、当社株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合（5株を1株に併合）を実施いたします。

平成30年3月期の配当については、株式併合の影響を考慮して、期末配当として1株につき27円50銭（特別配当2円50銭を含む。）を予想いたしております。なお、株式併合の影響を考慮しない場合の配当は、1株につき5円50銭に相当し、平成29年3月期に比べ50銭の増配となります。

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

名鉄グループの事業概況



交通事業

営業収益	1,651億82百万円	(前期比 0.4%増)
営業利益	227億22百万円	(前期比 3.3%増)

鉄軌道事業では、当社は、都市計画事業の一環として、名古屋本線知立駅付近などで高架化工事を進めたほか、駅ホームの改良工事を行うなど、引続き安全面の強化に努めました。また、一部特別車特急車両2200系、通勤型車両3150系・3300系を導入したほか、訪日外国人旅行者の利用が多い名鉄名古屋駅・中部国際空港駅などの主要駅及びミュージスカイや特急特別車の車内で利用できる無料Wi-Fiサービス「MEITETSU FREE Wi-Fi」を開始するなど、お客さまサービスの向上を図りました。営業施策面では、5700系・5300系のデビュー30周年を記念した乗車券及びミュージケットカードの販売や、瀬戸線開業111周年記念スタンプラリーを実施したほか、沿線地域と連携した観光キャンペーンを引続き実施するなど、旅客の需要喚起に努めました。事業全体では、輸送人員が増加したこともあり、増収となりました。

バス事業では、名鉄バス(株)は、昨年11月に8往復から14往復へ増便した中部国際空港アクセスバス「セントレアリムジン」の利用が好調に推移したほか、高速バス「名古屋―宇都宮・郡山線」を延伸し、「名古屋―宇都宮・福島線」として運行を開始するなど、新規顧客の獲得に取組みました。名鉄観光バス(株)は、名古屋を起点に飛騨高山や白川郷を巡る訪日外国人旅行者向けバスツアーの催行を開始し、新たな需要喚起に努めました。また、濃飛乗合自動車(株)では、高速バス「高山―新宿線」の一部を飛騨古川まで延伸するとともに、同線と成田・羽田各空港リムジンバスの連絡きっぷを発売するなど、観光客の取込みを図りました。事業全体では、乗務員不足の影響などにより、減収となりました。

タクシー事業では、当社グループのタクシー会社17社では、「manaca」をはじめとする交通系電子マネーの決済端末機を、昨年4月から順次導入するなど、利便性の向上に取組みました。



運送事業

営業収益	1,298億64百万円	(前期比 1.6%減)
営業利益	56億89百万円	(前期比 8.7%減)

トラック事業では、名鉄運輸(株)は、昨年4月に信州名鉄運輸(株)を完全子会社化し、一層強固な連携体制を構築するとともに、日本通運(株)との資本業務提携による事業領域の拡充を図りました。また、関東圏での営業活動をさらに積極的に展開するため、路線ネットワークの重要拠点として、昨年4月に千葉県野田市に「野田支店」を新設しました。事業全体では、採算性を重視した契約への見直しを進めたこともあり、減収となりました。

海運事業では、太平洋フェリー(株)は、3代目「いしかり」の就航5周年記念キャンペーンを行うなど、旅客の利用促進に努めたものの、事業全体では、台風の影響により欠航が相次いだこともあり、減収となりました。



不動産事業

営業収益	812億82百万円	(前期比 7.4%減)
営業利益	89億96百万円	(前期比 6.2%減)

不動産賃貸業では、当社は、本年3月に「meLiV (メリヴ)」ブランド2棟目の賃貸マンションとなる「meLiV 栄生」を名古屋本線栄生駅前に開業したほか、沿線の所有不動産を、デザインを重視した賃貸物件に再生する取組みの第一弾として、犬山駅西ビルのリノベーションを行うなど、資産の有効活用と沿線地域の価値向上を

図りました。また、(株)名古屋商工会館では、銀座4丁目に保有するビルの収益性向上を図るため、複合ビル「G4 BRICKS BLD. (ジーフォーブリックスビル)」として建替え、昨年11月に開業しました。事業全体では、駐車場収入が好調に推移したこともあり、増収となりました。

不動産分譲業では、当社は、分譲団地「名鉄陽なたの丘 蒼空(そら)の街」の販売を好評のうちに終えました。また、名鉄不動産(株)では、首都圏エリアの「ザブルームテラス」をはじめとした分譲マンションの販売を進めたものの、事業全体では、販売引渡戸数の減少などにより、減収となりました。



レジャー・サービス事業

営業収益	551億12百万円	(前期比 0.1%増)
営業利益	17億66百万円	(前期比 16.0%減)

ホテル業では、(株)名鉄グランドホテルは、「名鉄グランドホテル」の「カジュアルダイニング アイリス」と「スカイラウンジ203」のリニューアル1周年を記念したキャンペーンを行うなど、集客力向上に努めたほか、(株)名鉄犬山ホテルでは、「名鉄小牧ホテル」の客室リニューアルを順次行うなど、サービスの向上を図りました。また、名鉄イン(株)では、昨年3月に東京都港区に開業した「名鉄イン浜松町」などで、ビジネス・観光客の利用が堅調に推移したほか、昨年11月には「名鉄イン名古屋駅新幹線口」を開業するなど、事業拡大を図りました。事業全体では、新規出店による宿泊人員の増加などにより、増収となりました。

観光施設の経営では、(株)名鉄インプレスは、「南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国」において、昨年4月に物販店「ホエールショップ」をオープンしたほか、昨年7月に「日本モンキーパーク」において、レジャープール「水の楽園 モンプル」の大規模リニューアルを実施するなど、施設の魅力向上に努めました。また、(株)名鉄レストランでは、昨年2月に開設された新東名高速道路岡崎サービスエリア内に「お土産処 三州岡崎宿」が増収に寄与しました。事業全体では、前期に一部子会社を譲渡したこともあり、減収となりました。

旅行業では、名鉄観光サービス(株)は、アジア方面などの比較的近距離の海外旅行が好調に推移したほか、国内旅行では、団体客などの取込みが堅調だったこともあり、事業全体では、増収となりました。



流通事業

営業収益	1,343億97百万円	(前期比 1.5%減)
営業利益	9億27百万円	(前期比 7.5%増)

百貨店業では、(株)名鉄百貨店は、本店において、昨年9月に低糖質食品などを集めたコーナー「めいてつローカーボ生活」をオープンしたほか、本年1月には大手家具インテリアチェーン「ニトリ」の都市型店舗を中部地区で初めて誘致するなど、新規顧客の獲得に取組みました。事業全体では、衣料品などの販売が振るわなかったこともあり、減収となりました。

その他物品販売では、名鉄産業(株)は、「ファミリーマートエスタシオ」を名古屋本線名鉄名古屋駅下りホームや常滑線大同町駅構内にオープンするなど、収益力の向上に努めました。



その他の事業

営業収益	735億31百万円	(前期比 5.6%減)
営業利益	40億31百万円	(前期比 9.2%増)

その他の事業では、情報処理業において、システム開発案件の受注が減少したほか、設備関連会社でも、設備工事の受注が伸び悩みました。

平成29年3月期 連結決算の要旨

■ 連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	173,058	流動負債	278,959
現金及び預金	22,702	支払手形及び買掛金	71,411
受取手形及び売掛金	57,828	短期借入金	63,188
分譲土地建物	57,908	1年以内償還社債	35,000
その他のたな卸資産	12,375	その他	109,359
その他	22,243	固定負債	472,110
固定資産	920,824	社債	174,990
有形固定資産	778,914	長期借入金	163,510
建物及び構築物	299,751	再評価に係る繰延税金負債	56,671
土地	361,851	退職給付に係る負債	34,314
その他	117,312	その他	42,623
無形固定資産	9,157	負債合計	751,069
投資その他の資産	132,752	(純資産の部)	
投資有価証券	106,266	株主資本	204,913
繰延税金資産	11,913	資本金	88,863
その他	14,572	資本剰余金	23,155
		利益剰余金	93,164
		自己株式	△ 270
		その他の包括利益累計額	111,405
		その他有価証券評価差額金	23,908
		繰延ヘッジ損益	△ 197
		土地再評価差額金	88,835
		為替換算調整勘定	△ 12
		退職給付に係る調整累計額	△ 1,127
		非支配株主持分	26,493
		純資産合計	342,813
資産合計	1,093,882	負債純資産合計	1,093,882

■ 連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	599,569
営業費	555,388
営業利益	44,180
営業外収益	6,866
営業外費用	4,904
経常利益	46,142
特別利益	3,699
特別損失	12,900
税金等調整前当期純利益	36,941
法人税、住民税及び事業税	13,127
法人税等調整額	△ 1,977
当期純利益	25,792
非支配株主に帰属する当期純利益	2,358
親会社株主に帰属する当期純利益	23,433

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成29年3月期 個別決算の要旨

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	75,111	流動負債	134,835
現金及び預金	1,012	短期借入金	27,549
未収金	1,836	1年以内償還社債	35,000
短期貸付金	66,461	前受金	23,998
その他	5,800	その他	48,286
固定資産	697,026	固定負債	401,603
鉄軌道事業固定資産	369,224	社債	174,990
開発事業固定資産	141,388	長期借入金	145,087
各事業関連固定資産	4,609	再評価に係る繰延税金負債	51,185
建設仮勘定	28,473	その他	30,341
投資その他の資産	153,329	負債合計	536,438
関係会社株式	90,770	(純資産の部)	
投資有価証券	59,252	株主資本	130,464
その他	3,306	資本金	88,863
		資本剰余金	21,351
		利益剰余金	20,501
		自己株式	△ 252
		評価・換算差額等	105,234
		その他有価証券評価差額金	20,622
		土地再評価差額金	84,612
		純資産合計	235,698
資産合計	772,137	負債純資産合計	772,137

損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	105,741
営業費	86,627
営業利益	19,113
営業外収益	7,927
営業外費用	4,087
経常利益	22,952
特別利益	2,611
特別損失	9,497
税引前当期純利益	16,066
法人税、住民税及び事業税	5,160
法人税等調整額	△ 2,771
当期純利益	13,677

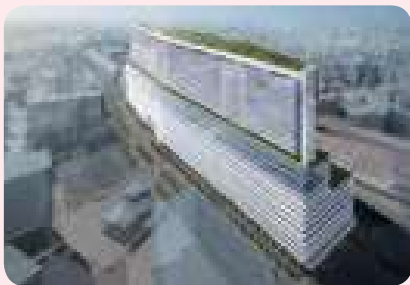
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「名鉄 名古屋駅地区再開発 全体計画」を発表

当社グループは、リニア中央新幹線開業のインパクトを、新たなステージに飛躍する最大のチャンスと捉え、その需要を確実に取込み、地域に新たな価値を創出すべく名鉄名古屋駅地区の再開発に取り組んでいます。本年3月には、当社が実現を目指すプランとして、「名鉄 名古屋駅地区再開発 全体計画」を発表しました。この全体計画では、「再開発施設の概要」「交通整備の概要」「目標スケジュール」についてとりまとめています。

再開発施設の概要 (案)

利便性の高いターミナル機能の形成を図るとともに、南北に長い敷地特性を活かして、まちに開かれ、まちと一体となって賑わいを創出することにより、再開発エリアの価値最大化を目指します。

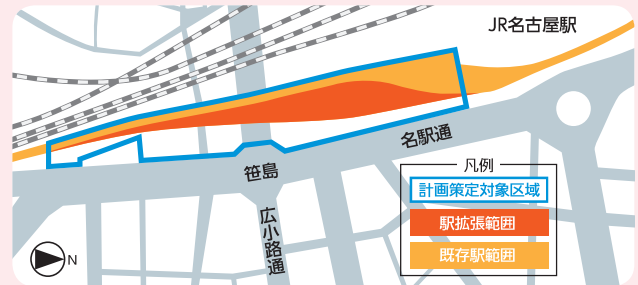


建物イメージ (案)

商業、オフィス、ホテル、レジデンスを中心とした用途を、適正規模で効率的に配置します。

交通整備の概要 (案)

名鉄名古屋駅を、面的にも機能的にも拡張し、お客さまにわかりやすい駅に整備します。また、名鉄バスセンターは、高速路線バスの集約化も可能とする機能・規模を確保し、利便性の向上を図ります。



駅拡張範囲イメージ (案)

目標スケジュール

2017年度～ 〇周辺地権者・行政等との協議・調整
〇都市計画等の必要な手続き | 2022年度 工事着手

駅機能の整備については、リニア中央新幹線開業時を目標に進めます。

(注)現時点での検討段階のイメージを示したものであり、決定したものではありません。今後周辺地権者・行政等との協議により変更となる場合があります。

鉄道事業者初「レジリエンス認証」を取得!

当社は、災害などの発生を想定した事業継続に関する取組みが評価され、昨年12月に「レジリエンス認証[※]」を、鉄道事業者で初めて取得しました。大規模災害の発生時に、旅客輸送をはじめ各事業の維持・復旧活動を速やかに開始できるよう、事業継続計画(BCP)を定めるとともに、日頃より、訓練等を通じた継続的な改善を実施しています。今後もこれらの取組みを積極的に推進します。

※「一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会」によるレジリエンス認証制度は、企業・団体における事業継続の積極的な取組みを広めることを目的としており、内閣官房国土強靱化推進室が制定した「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づくものです。



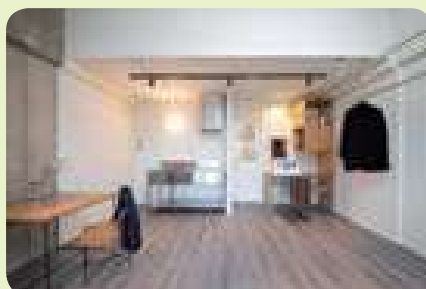
事業領域の拡大と成長分野への進出に向けた取組み

当社は、「名鉄グループ中期経営計画～PLAN123～」に掲げる「『総合生活サービス事業』の展開」を図る施策の一環として、犬山駅西ビルをデザイン性の高い賃貸物件にリノベーションしたほか、リハビリ型デイサービスを提供する「名鉄レコードブック神宮前」を開業しました。

犬山駅西ビルのリノベーション

当社は、沿線の所有不動産を、デザインを重視した賃貸物件へと再生する取組みの第一弾として、「SUMU INU YAMA」をコンセプトに、犬山駅西ビルのリノベーションを実施し、本年3月に竣工しました。

同物件では、子育て世帯や女性単身者など、それぞれのライフスタイル別に、異なるタイプの部屋を提供しています。また、1階にはキッズスペースを併設した飲食店を誘致し、駅直結の立地を活かして、入居者以外の方にも広くご利用いただける魅力的な施設を目指しています。



名鉄レコードブック神宮前の開業



当社は本年3月、(株)インターネットインフィニティーとの共同プロジェクト事業として、リハビリ型デイサービス「名鉄レコードブック神宮前」を開業しました。主に要支援1から要介護2までの認定を受けた方を対象に、3時間の運動プログラムを提供しています。

なお、6月に(株)インターネットインフィニティーとの合併会社「(株)名鉄ライフサポート」を設立し、10月からは同社が運営を担う予定です。拡大が続くシニアビジネス市場において、シニア層のニーズに応える取組みを推進していきます。

「名鉄イン名古屋駅新幹線口」を開業!

名鉄イン(株)は昨年11月、名駅エリア3店舗目となる「名鉄イン名古屋駅新幹線口」を開業しました。同ホテルは、新幹線改札から徒歩約4分と至便な立地で、ビジネスや観光に加え、訪日外国人旅行者のご利用も見込んでいます。英国王室御用達ブランドのベッドを備えたほか、バス・トイレをセパレートにするなど、お客さまに快適に過ごしていただける空間となっています。

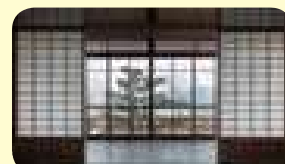


ざぎょそう

西園寺公望別邸「坐漁荘」が重要文化財に指定！

博物館明治村では、同村で保存・展示している西園寺公望別邸「坐漁荘」が、本年2月、国の重要文化財(建造物)に指定されました。

「坐漁荘」は最後の元老といわれる西園寺公望が、景勝の地として名高い静岡県興津に建てた別荘建築の希少な遺構で、数寄屋造りの近代和風建築としての高い価値が認められました。同村の建造物としては、「宇治山田郵便局舎」以来、18年ぶりとなる11件目の重要文化財です。



単元株式数の変更及び株式併合について

当社は、平成29年10月1日をもって、当社株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、同年9月30日時点の株主名簿に基づく株主様のご所有株式数について、5株を1株の割合で併合いたします。なお、この単元株式数の変更及び株式併合に際し、**株主様による特段のお手続きの必要はございません。**

株式併合による 資産価値への 影響

株式併合後においては、株主様のご所有の株式数は併合前の5分の1となりますが、1株当たりの純資産額は5倍となりますので、株式市況の変動など他の要因を別にすれば、株主様のご所有の当社株式の資産価値が変わることはありません。また、株価についても、理論上は併合前の5倍となります。

株主優待制度 について

併合割合に応じて発行基準を変更いたしますが、実質的な発行基準に変更はありません。

株式併合後の 所有株式数 及び議決権数

株主様の株式併合後のご所有株式数は、平成29年9月30日時点の株主名簿に記録された株式数に5分の1を乗じた株式数(1株未満の端数がある場合はこれを切り捨てます。)となります。また、議決権数は併合後のご所有株式数100株につき1個となります。

1株未満の 端数が生じる 場合の処理

株式併合の結果、1株未満の端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、当社が一括して処分し、その代金を端数が生じた株主様に対し、端数の割合に応じてお支払いいたします。この代金は、平成29年11月にお支払いすることを予定しております。

【お問合せ先】 お取引のある証券会社または下記の株主名簿管理人にお問合せください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎ 0120-782-031 (受付時間：平日9:00～17:00)

会社情報

(平成29年3月31日現在)

会社概要

設立年月日	大正10年6月13日
本店所在地	名古屋市中央区名駅一丁目2番4号
資本金	88,863,525,064円
発行済株式総数	919,772,531株
株主数	77,956名
事業内容	鉄軌道事業、開発事業
従業員数	5,048名
ホームページアドレス	http://top.meitetsu.co.jp/

役員

山本 亜土	代表取締役会長
安藤 隆司	代表取締役社長
大西 哲郎	代表取締役副社長
高木 英樹	代表取締役副社長
柴田 浩	代表取締役専務
拝郷 寿夫	代表取締役専務
岩瀬 正明	常務取締役
高田 恭介	常務取締役
高崎 裕樹	常務取締役
鈴木 清美	常務取締役
舟橋 雅也	常務取締役
小野 猛	取締役
吉川 拓雄	取締役
二神 一	取締役
矢野 裕	取締役
岡部 弘	社外取締役
福島 敦子	社外取締役
松林 孝美	常任監査役(常勤)
小島 康史	常任監査役(常勤)
岡谷 篤一	社外監査役
川口 文夫	社外監査役
佐々 和夫	社外監査役

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

* 電子公告掲載ホームページアドレス
<http://www.meitetsu.co.jp/profile/ir/notice/>

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎0120-782-031
(受付時間：平日9:00～17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待制度のご案内



当社の株主ご優待制度には、3,000株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000株以上の株主様に、年1回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

1 株主優待乗車証 優待基準



権利確定日	発送時期	有効期限
3月31日	6月上旬	12月15日
9月30日	12月上旬	翌年6月15日

ご所有株数	株主優待乗車証の種類	贈呈枚数(半年)	
3,000株以上	電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1枚につき1名様1回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	2枚	
5,000株以上		6枚	
10,000株以上		12枚	
15,000株以上		18枚	
20,000株以上		24枚	
25,000株以上		30枚	
30,000株以上		36枚	
35,000株以上		42枚	
40,000株以上		電車・名鉄バス全線乗車証〔バス券方式〕 ・ご持参の1名様にご利用いただけます。 ・名鉄バス線のバス路線には、高速バス路線などご乗車になれない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車になれません。 ・ご希望の株主様は、Jカード[manaca]への移し替えが可能です。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	1枚
100,000株以上			2枚
500,000株以上	5枚		
1,000,000株以上	10枚		

2 株主ご優待券 優待基準



権利確定日	発送時期	有効期限*
3月31日	6月下旬	翌年7月15日

*電車線株主招待乗車証の有効期限は翌年6月30日。

ご所有株数	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)
1,000株以上一律	電車線株主招待乗車証	4枚	名鉄観光バス募集型企画旅行商品 優待割引券：5%割引	2枚
	リトルワールド、日本モンキーパーク(遊園地部分のみ)、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国共通 入場招待券	6枚	太平洋フェリー運賃 優待割引券(A期間[通常期間]のみ)：10%割引	2枚
	明治村入村料 優待割引券：大人・シニア・大学生・高校生を一律850円に割引	2枚	新穂高ロープウェイ運賃 優待割引券 ：往復 大人2,000円、小人1,000円に割引	2枚
	杉本美術館入館料 優待割引券：50%割引	2枚	中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ運賃 優待割引券：20%割引	2枚
	名鉄カルチャースクール神宮前入会金 優待割引券：50%割引	1枚	恵那峡遊覧船運賃 優待割引券(定期船のみ) ：大人900円、小人450円に割引	2枚
	名鉄百貨店 買物優待券：10%割引	18枚	クアハウス長島入泉料 優待割引券 ：大人450円、小学生以下250円に割引	2枚
	名鉄グループホテル〔宿泊料金〕 優待割引券：20~30%割引	4枚	名鉄自動車整備 車検・定期点検整備料金 優待割引券：工賃10%、部材5%割引	2枚
	名鉄グループホテル〔飲食代金〕 優待割引券：10%割引	4枚	ニッポンレンタカー名鉄 レンタカー料金 優待割引券：30%割引	2枚
	名鉄観光サービス募集型企画旅行商品 優待割引券：5~6%割引	2枚	名鉄病院 人間ドック受診料 優待割引券：2,000円割引	2枚

* 内は1枚あたりのご利用可能人数です。詳細は当社ホームページをご覧ください。

マイナンバー制度のご案内(株主の皆様へのお願い)

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社にお届ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、三井住友信託銀行(株)(TEL:0120-782-031)にお問合せください。

名古屋鉄道株式会社 総務部
〒450-8501 名古屋市中村区名駅一丁目2番4号

